

介護に携る人のスキルアップ実践講座

特定非営利活動法人 認知症予防サポートネット
〒662-0865 兵庫県西宮市神垣町 3 番 20-401 号

助成事業の概要

<介護に携る人のスキルアップ実践講座>

（目的）

介護に携る方々の職種が多様で、且つ、勤務体制の違いなどから、お互いにコミュニケーションが取りにくくなっています。また、職場での研修も十分でないことを踏まえて、スキルアップするための実践的な集合研修を実施しました。

（時期及び内容）

9 月から 11 月にかけて、11 回の研修を実施しました。講師はいずれも経験豊富で、現役で活動している方ばかりですので、実践的な講座になったと考えています。各講座で使用した資料は報告書に添付します。

<思い出カルタの作成>

（目的）

回想法は認知症予防に役立つと言われ、介護施設でも取り入れられつつあります。そこで、回想法に使えるツールの一つとして「思い出カルタ」を作りました。昭和 10 年代から 30 年代まで 30 年間の生活、子供の遊び、仕事、家族をテーマに「いろは・・・」の 47 文字を頭にしたカルタです。現物は報告書に添付します。

（時期及び内容）

10 月に完成し、11 月から 1 月にかけて実際講座で使って参加者の感想を聞いています。1 月 6 日に神戸市の地域福祉センターで実施した講座では、約 40 名の方が参加して大いに盛り上がりました。

事業の成果

介護に携る人のスキルアップ実践講座は、2 時間と 3 時間に分けて専門的な内容で行いました。殆どが介護現場で勤務する方で、延べ 190 名が受講されました。講座終了後も当方からの情報提供や継続して講座を開催して欲しいとの希望が多くありました。

特に「職場で直ぐに役立つ」ことを念頭において、講座を組み立てましたので、関心は高かったようです。

協力団体からの受講者も多く見られました。また、西宮市の後援を頂き感謝しています。

「思い出カルタ」は前述のような時代を背景に、当 NPO 法人で川柳を作り、それを基に絵を描いて貰いました。現物を欲しい方が多く見られると予想しましたので、300 組作成しました。

普通のカルタは表に文字がありますが、今回は取って後に書きました。川柳を聞きながら、絵にあるヒントを探し取るのです。これは想像力を働かせることに繋がります。また、カルタを見ながら昔の出来事を思い出す「回想法」にもなります。会員の 1 人がカルタを使っているところを、12 月 3 日（火）の神戸新聞に紹介されました。

成果の広報、公表

事業の報告は後援して貰った西宮市へ致しました。

「思い出カルタ」に関する新聞記事が 12 月 3 日（火）の神戸新聞に掲載されました。

■ 今後の展開

団塊の世代が 66 歳を超えるようになりました。今後は認知症の方が更に増えると予想されています。

軽度認知障がいの方をスクリーニングする方法は沢山ありますが、一度に大量の予備群が出てきた場合、その対応策が整っていないため、多くの自治体では後手に廻っているのが現状です。

そこで、如何に認知症に進むのを遅らせるか？が重要です。認知症は生活習慣と密接に関連していると言われてしますので、元気な内に適切な生活習慣を身につけることが大切になります。

しかし、一般の人は具体的な方法が中々分からないことが多いです。高齢者向けの講座は解り易く、親しみやすく、直ぐに役に立つ内容にしなければ敬遠されます。

当NPO法人では少しでもレベルアップして、お役に立つよう工夫しておりますが、未だ十分ではありません。

今後、自治体を初め、老人会、地域コミュニティー団体と協力して認知症予防活動を行っていくことにしています。